



三重陸協たより

三重陸協広報部発行

第4号

平成21年10月17日

トキめき新潟国体 3種目で優勝!

10月2日(金)～6日(火)の5日間、新潟市東北電力ビッグスワンスタジアムで開催された第64回国民体育大会陸上競技大会で、三重県チームは3種目で優勝、11種目で入賞し皇后杯得点では8位に入る大活躍をしました。

大会初日の2日(金)には、男子少年A走幅跳の林風汰(宇治山田商高)選手、女子成年5000mの杉原加代(デンソー)選手、女子少年A100mの世古和(宇治山田商高)の3名が優勝する幸先のいいスタートをきり、その後も入賞を重ね最後は女子共通4×100mRの県新記録5位入賞でしめくりました。

第64回 国民体育大会陸上競技大会 入賞者

10月2日(金)～6日(火)

新潟市東北電力ビッグスワンスタジアム

優勝	男子 少年A	走 幅 跳	林 風汰(宇治山田商高)	7 m 4 2 (± 0)
	女子 成年	5 0 0 0 m	杉原 加代(デンソー)	1 5 分 5 1 秒 9 9
	女子 少年A	1 0 0 m	世古 和(宇治山田商高)	1 1 秒 8 6 (± 0)
2位	男子 少年共通	棒 高 跳	田中 僚(皇學館高)	4 m 9 0
	女子 少年B	1 0 0 m	橋爪 咲奈(宇治山田商高)	1 2 秒 2 4 (-0.2)
3位	女子 少年B	1 0 0 m YH	辻 彩美(桑名高)	1 4 秒 3 6 (-0.2)
4位	男子 成年	3 0 0 0 m S C	梅枝 裕吉(NTN)	8 分 3 7 秒 5 6
5位	男子 成年	円 盤 投	藤原 潤(八千代工業)	4 9 m 9 9
	女子 共通	4 × 1 0 0 m R	三重県 中村 花子(ASSA-TC) 橋爪 咲奈(宇治山田商高) 作野 捺希(宇治山田商高) 世古 和(宇治山田商高)	4 6 秒 2 6 ☆県新 ※ 準決勝 4 6 秒 0 7 ☆県新
7位	男子 成年	砲丸投(7.26 kg)	南 幸裕(国士舘大)	1 5 m 7 3
	男子 少年A	砲丸投(6.0 kg)	三村 幸輝(稲生高)	1 5 m 4 9
	女子 少年A	や り 投	仰 梨江(伊勢高)	4 5 m 4 5
8位	男子 少年A	三 段 跳	濱口 隆翔(宇治山田商高)	1 4 m 7 7 (± 0)
	女子 少年A	ハンマー投	中島なつみ(久居高)	4 5 m 8 8

陸上競技 総合成績

天皇杯(男女総合)	74.5点	10位
皇后杯(女子)	46.0点	8位

世界へはばたけアスリート

I H・国体 100m優勝 ～世古 和選手～

(修道小→五十鈴中→宇治山田商)

今年、夏のインターハイと秋の国体で高校100mの女王に輝いた世古和選手を紹介します。

陸上競技との出会いは、小学校3年から。陸上競技経験のある両親に勧められて大会に参加し、3年生・4年生と60mの三重県小学生記録を樹立、5年生では100mで全国小学生大会4位に入賞するなどすばらしい成績を残しました。当時は1年生から始めた器械体操に取り組み、陸上競技はとても嫌だったそうです。

中学校に入学してからも器械体操を続けていましたが、2年生の時にケガをして器械体操が続けられなくなりました。3年生になった年に赴任された中村宏先生(野口みずき選手の中学時代の恩師)から誘われ陸上部に入部し、不安もプレッシャーもなく、チームメートと楽しく練習をするうちに陸上競技が好きになったそうです。この年、全日本中学では200mで6位に入賞、秋の県大会では12秒35を記録するまで力をつけました。

宇治山田商業に進学し小池弘文先生と出会い、1年生でインターハイ100mに出場。しかし予選落ち、決勝のレースを見て「いつかは絶対あの場で1番速く走りたい」という思いをもち、2年生の東海インターハイで負けたことも、その思いを強くしていきました。そして3年生の今年、奈良インターハイ100m優勝で、ついに夢を実現しました。さらにその何倍もうれしかったのが“4人で勝ち取った日本一”4×100mRの優勝。「インターハイで優勝できたのは、先生方やチームメート、関わってくれたすべての人たちのおかげです。これからは、その人達に恩返しができるようにがんばっていきたいです」という言葉からも、その思いが伝わってきます。

これからの目標は、世界大会に出場し、世界でも活躍できる選手になること。目標とする選手は、競技だけでなく人間的にも尊敬している、女子走幅跳 高校記録保持者 中野瞳(現 筑波大)選手。そして、「走ることが大好きなので、その気持ちを忘れずに楽しくやっていたい」と語っています。

これからの活躍を期待します。

小・中学生の皆さんへのメッセージ

「今、走っていただけることは、とても幸せなことです。

先生や周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、走ることを楽しんでください。」



北岡(NTN)選手 日本人トップ ～世界ハーフマラソン～

10月11日(日)にイギリスのバーミンガムで開催された、2009年世界ハーフマラソン選手権に日本代表として出場した北岡幸浩(NTN)選手は、1時間2分50秒の日本人トップの21位でゴールしました。